

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 097	提案機関名 二宮町漁業協同組合
要望問題名 二宮のキアジの生態について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 当漁協の大型定置網は、両口中層網というタイプで、表層の浮き魚が多く入る一般的な落とし網と比べて、イシダイやマダイといった中層を回遊する高級魚が多く入る。また、相模湾の定置網の重要な対象種マアジについては、沖合性のクロアジ（黒っぽく見える）と比べて、沿岸性のキアジ（黄色がかって黄金に輝いて見えることから金アジとも呼ばれる地付きアジ）が比較的多く入網する。 このキアジは、クロアジと比べて沿岸の豊富な餌を食して脂がのっておいしく、魚商の間でも金アジと称され旨いアジとして定評がある。 しかし、キアジの産卵場や具体的な生態は明らかになっていない。 一方、当漁協では、二宮漁場の定置網の地魚のPRに取り組んでおり、その筆頭としてキアジのブランド化を検討している。そこで、未だ明らかになっていないキアジの生態やクロアジとキアジを比べたキアジの特徴等について、解明して頂きたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	200海里内漁業資源調査		
対応の内容等	マアジは相模湾西湘地区の重要漁獲種であるが、相模湾で生息するマアジの生態については不明な点が多い。現在、当场では、相模湾で漁獲されるマアジの成長、成熟、年齢等の情報収集を行っている。 今後、データを蓄積し、回遊性マアジと沿岸性マアジの比較を行いたいと考えています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			